

# 令和7年度 白梅いずみ保育園 事業計画書

社会福祉法人 白梅福祉会  
理事長 倉山 郁一  
園長 小林 朋美

## 1. 職務担当者

園長 1人、事務長 1人、総主任保育士 1人、主任保育士 2人、  
保育士 20人（常勤 13人、非常勤 7人）、  
保育補助 非常勤 2人、事務員 常勤 1人  
栄養士 1人、調理員 非常勤 4人（1人が栄養士資格有）  
\*採用 常勤保育士2人

## 2. 今年度の取り組み

- ①12年間で培ってきたこと、学んできたことを基盤に、13年目の活動を丁寧に積み重ねていく。
- ②働きやすい職場を、今まで同様に目指していく。男性保育士の育児休暇の取得等、本園の規程に基づき柔軟に対応していき、今年度も各休暇の充実のため、連携しながら有休消化につなげていきたい。
- ③保育者養成校の学生数が減る中、大学・短大・専門学校からの実習依頼が定着しているので、日程を組み丁寧な指導を行い、今後も人材確保と育成のために貢献したい。
- ④保育園での学びを小学校につなげるように、小学校との連携事業に積極的に参加する。地域交流は今後も重視していく。  
接続期カリキュラムについての研修に、今年度は乳児クラスの担任が参加して連携の理解を深める。（昨年度は、年長クラス・若手担任が受講済み）

## 3. 保育目標

- ・心も体も健康で、礼儀正しく頑張る子
- ・基礎的な生活習慣を身に付け、社会で生きる力の基礎を培う。
- ・乳児期は、愛着関係を基盤にした丁寧なかかわりの中から基本的な生活習慣を身に付け自立をめざし、幼児期は、乳児期の育ちを基盤にし仲間と共に日々の生活を送り幼児期の終わりまでの育みたい資質・能力を身に付けるため、園の特色（布おむつの使用・泥んこ遊び・良い絵本・絵本の全員購読・完全給食・幼児の縦割り保育）を生かした保育をする。

#### 4. 保育内容

##### 1) 保育目標と保育計画

- ・保育所保育指針に基づいた『全体的な計画』を作成し、それに基づいた年間カリキュラムを作成して、本園の保育理念を生かした保育計画を立て、園の目標が達成できるようにするとともに、就学までに『10の姿』の実現を目指す。

##### 2) 行事への取り組み

- ・行事は生活の積み重ねの上にある、という考え方を基本に実施する。  
【令和7年度 白梅いずみ保育園年間行事予定表：参照】

##### 3) 地域交流

- ・園外保育（散歩・公園…等）を活発に行い、近隣施設への訪問や地域の行事に参加し、人と関わる力を育て、社会活動に関心を持つ。

##### 4) 幼保小連携事業への参加

- ・5歳児がスムーズに小学校生活をスタートでき、園生活で積み上げてきた力を伸ばすことを保障できるよう、接続期プログラムを導入して小学校との連携を行う。
- ・園長、職員が、園長・校長会や実践交流会に出席し、学校の公開授業や研究事業等に積極的に参加して、教育の連続性を確保する。

##### 5) 職業体験の受け入れ

- ・近隣の小学校、中学校の「福祉体験」「職業体験」等、保育現場への参加を受け入れ、保育実践を通して保育所に対する理解と保育の楽しさ、大切さを知る啓蒙活動を行っている。

##### 6) 安全な生活の維持（各種訓練の実施）

- ・毎月、避難訓練（不審者対策訓練・防災訓練・救命救急を含む）を実施する。
- ・地元の警察署と合同で、年1回の防犯訓練を実施する。
- ・地元の消防署と合同で、年1回の避難訓練・防災訓練を実施する。

#### 5. 保育実践力の向上

##### 1) 職員会議

- ・月2回の職員会議（定例職員会議）で重要事項の審議・決定・確認を行い、全員が保育の運営に参加できるようにする。
- ・月2回の職員会議（担任会議・給食会議）で子どもたちへの配慮、問題に対する改善策を協議し、職員間の連携を図り保育に当たる。
- ・必要時には、パート会議、ブロック会議、担当者協議を行う。

## 2) 職員研修

- ・キャリアアップ研修を含め、園内外の研修に積極的に参加し、保育の質を高め、全体の保育力を高める。
- ・外部からの講師依頼・研究発表依頼に対しては、無理の無い範囲で積極的に受諾し、「白梅いずみの保育」を発信する。
- ・各方面からの依頼を受け、保育者養成校の学生対象の教科書、冊子などの執筆を行い、保育者養成に貢献する。

## 3) 保育実習・ボランティアの受け入れ

- ・保育現場で保育者養成・青少年育成に協力し、社会に貢献する。
- ・保育者養成校（大学・短大・専門学校）、高校、中学からの実習・見学・ボランティア依頼を無理の無い方法で受け入れており、今後も継続的に実施する。

## 4) 子育て支援事業の実施

- ・子育て広場『くるりん』を実施し、講演会・園庭（施設）開放・交流を行い、地域の子育てに協力し、社会に貢献する。

## 5) 年間研究

- ・職員が自己の力を十分に発揮できるよう、無理のない範囲で個別研修計画を作成し、互いに学び合う。
- ・成果を上げたものについては、外部団体主催の研究会で発表する。
- ・各フロアで園長・主任が講師となり、テーマを決めて勉強会を行う。

## 6. 給食

- ・毎月1回給食会議を行い、給食の質を高めている。
- ・保育の流れの中で『食育』（別途カリキュラムを作成）を行い、豊かな食生活を送るための基礎を培う。
- ・食育を通して、「生きること」について考えさせる。
- ・アレルギー体質の子どもには毎月の献立表をもとに保護者と相談し、アレルギー除去食を提供する。
- ・給食の写真を掲示して、親子で食事について関心が高まるようにする。
- ・離乳食は家庭での進行状況に合わせて進めていく。

## 7. 健康管理の実施

### (1) 園児

|       |                         |
|-------|-------------------------|
| 内科健診  | 5月・10月に嘱託医による健康診断を実施予定。 |
| 歯科健診  | 5月・11月に嘱託医による歯科健診を実施予定。 |
| 視聴覚検査 | 9月に3歳児対象に実施予定。          |
| 尿検査   | 6月に実施予定。(3歳以上児のみ)       |

## (2) 職員

入所時健康診断

定期健康診断 7・8月頃から順次実施予定。

腸内細菌検査 毎月1回実施予定。

## 8. 避難訓練の実施

- ・毎月1回、火災や地震等を想定した避難訓練及び消火訓練を実施予定。

【令和7年度 避難訓練年間計画：参照】

- ・年に2回、防犯訓練を実施予定。
- ・年に1回ずつ、警察署・消防署との合同訓練を実施予定。

## 9. 保護者とのコミュニケーション

- ・入園時に、園と保護者が協力して子育てに当たることを確認し、互いの連携の大切さを理解して、園生活を送る。
- ・入り口にドキュメンテーションを掲示し（週に1回程度）、一層わかりやすく子どもや保育の様子を伝えて、保護者からの理解を得る。
- ・0歳児から5歳児までの各クラスは、テラスのホワイトボードにその日のクラスでの出来事を、0歳児から5歳児までのクラスで、毎日連絡ノートに連絡事項を記入し、意思の疎通を図る。
- ・毎月発行する園だよりで、保育の考え方、園の方針、行事予定や連絡事項を、各クラスは、毎月クラスだよりを発行して、クラスの様子を知らせる。
- ・ホワイトボードに、早急に知らせなければならないこと、全体周知が必要なことを書き出し、情報共有を図り、緊急性が高く全体周知が必要な場合はマチコミで情報配信を行う。
- ・各クラス年に2回個人面談を実施する。幼児クラスは、年1回保育参観を行う。
- ・保護者からの要望があった場合には、担任、主任保育士、園長が、育児相談・個人面談を行う。

## 10. 年間行事

「令和7年度白梅いずみ保育園年間行事予定表」参照。

## 11. 運営資金

運営費、市区町村補助金等で運営。